

可児郷土歴史館企画展 (10/17〜2/1)

# 翁に集ったモノたち

表紙の写真は、荒川豊蔵が名古屋の古道具屋で発見し、買い求めた灰釉狛犬です。豊蔵は「この手の焼き物では最も古い逸物であると思う」とスケッチに記しています。また、購入の前日には切り株からキジが出てくる夢をみており、この狛犬と出会ったときに、夢のお告げと思ったこのエピソードを残しています。

今回の企画展では、豊蔵が収集した古陶器の収集品を中心に展示します。その中には豊蔵がスケッチしたもので、古陶器の伝来や作品に対する豊蔵の思いがこめられたものもあります。企画展に先立ち、豊蔵が見ていた古陶器の世界を一部紹介します。



写真1 猿水滴

## お猿達の会議

写真1は桃山期の猿水滴です。それを「お猿達の会議」と名付けてスケッチした豊蔵の絵が図1です。

豊蔵は、お猿達が何を話しているのか想像をめぐらせ、ユーモアを交えて「私は何も言わぬわいな」というセリフを書き込んでいます。

このような作品が、豊蔵の心を和ませ、好奇心をくすぐり、旺盛な制作意欲を刺激したことは想像に難くありません。



図1 「お猿達の会議」のスケッチ

## 大振りの瀬戸黒茶碗

豊蔵は、作品にまつわる記憶や考えをスケッチの中に記していたようです。

写真2の瀬戸黒茶碗については、「大振り 美濃の窯発掘中、格別大振りであり、作行雄大なもの」と記されています。幅や高さといった茶碗の寸法なども記されています。



写真2 瀬戸黒茶碗

## 企画展の見どころ

収集品を通じて、豊蔵がどのようなモノを好み、そして愛でたのか、そんな思いを馳せてみませんか。きっと、ユーモアや美意識といった豊蔵の感性にも共感していただけるのではないのでしょうか。

豊蔵は、美濃桃山陶に強いこだわりを持っていました。それは、作陶スタイルや暮らしぶりにも反映されています。

荒川豊蔵資料館企画展 (10/17〜2/1)

# 豊蔵交友録 袖振り合った人たち

見知らぬ人と袖が触れ合う程の些細なことも、前世からの因縁によるものであり、どんな小さなことや、ちょっとした人との交渉も、すべて深い宿縁に基づいているという意味の「袖振り合うも多生の縁」。企画展に先立って、生涯「縁」を大切にされた豊蔵との交友関係を、作品やエピソードを交えて一部紹介します。

## 白洲正子との縁

白洲正子は、日本の美についての随筆を多く著した随筆家です。豊蔵と交流があり、随筆「かくれ里」にも豊蔵との交流が記されています。

写真3は、久原元屋敷古窯跡（土岐市）から出土した陶片を繋ぎ合わせた、いわゆる呼継茶碗です。白洲正子が「よびつぎの面」に目覚めた「茶碗」として知られています。エッセイ「よびつぎの文化」の執筆のきっかけとなりました。エッセイの中で白洲正子は、この呼継のことを、「飲み終わって、はじめてその茶碗が「よびつぎ」であることがわかった断片を寄せ集めたものではなく、一つ一つの模様も素地の色も違う。何という念のいたった趣向、何という心のかもった技であろう。私が言葉もななくみとれていた」と表現しています。

特徴的な文様を選びながらも、別々の破片で削り上げたとは思えない調和のとれた呼継に、日本の美を記してきた白洲正子にとっても格別であった様子が見え隠れします。



写真3 織部呼継茶碗

## 北大路魯山人との縁

北大路魯山人は、美食家として有名ですが、陶芸家でもあります。豊蔵とは古志野筒絵陶片発見の端緒となるような縁がある芸術家です。



左：北大路魯山人 右：荒川豊蔵

写真4は、昭和6年美濃山中の古窯探査で発見された高根古窯跡（土岐市）から出土した美濃唐津茶碗です。

北大路魯山人が所有していましたが、昭和12年に他者の手に渡りました。その後、豊蔵が譲り受け、愛蔵しました。箱の蓋裏には「志野茶碗 魯山人（星岡窯印）」とあり、当時は志野と認識されていたことがわかります。



写真4 美濃唐津茶碗

す。そのような豊蔵が先人の技術や作爲によって生み出された品々に対して、敬愛と憧憬の念を抱いていたことは、容易にうかがい知ることが出来ます。豊蔵の愛した品々とともに、偉大な業績を残した過程と、その人柄に皆さんの心を寄せていただければ幸いです。

## 可児郷土歴史館企画展 翁に集ったモノたち

期間 10月17日(金)〜平成27年2月1日(日)  
休館日 月曜日、祝日の翌日および年末年始  
時間 午前9時〜午後4時30分

## 荒川豊蔵資料館企画展 豊蔵交友録

期間 10月17日(金)〜平成27年2月1日(日)  
休館日 月曜日および年末年始  
時間 10月末までは午前10時〜午後4時、11月からは午前10時〜午後3時30分

【共通事項】  
入館料 一般200円 高校生以下無料 共通券300円(可児郷土歴史館・兼山歴史民俗資料館 荒川豊蔵資料館のうち2館選べます)

## 関連企画 ギャラリートーク

展示を見ながら久々利大萱の陶房に訪れた人々や作品、豊蔵が愛蔵した品々について、豊蔵の内弟子であった吉田喜彦さんから、お話をうかがいます。

1	2	3	4
10/19 (日)	11/16 (日)	12/21 (日)	1/18 (日)
荒川豊蔵資料館	可児郷土歴史館	荒川豊蔵資料館	可児郷土歴史館

時間 午後1時〜3時(随時解説を行います)  
講師 吉田喜彦さん(陶芸家)  
※申し込みは不要です。  
※入館料が必要です。

## 臨時休館のお知らせ

展示替えに伴い、可児郷土歴史館は、10月15日(水)、16日(木)臨時休館します。

問合せ先 可児郷土歴史館 ☎0211